

【1】

1.  $P$  の native C コンパイラ

- (1) まず, Core-i5 上で動作し C プログラムを  $P$  の機械語に翻訳するクロスコンパイラを開発する. (あるいは, gcc を  $P$  にリターゲティングする)
- (2) 次に, できたコンパイラを自分自身でコンパイルすると,  $P$  の native コンパイラができる.

2.  $P$  の Java 処理系

- (1)  $P$  上で動作する JVM バイトコードのインタプリタを開発する.
- (2) Core-i5 でコンパイルして得られる JVM バイトコードは, (1) のインタプリタで実行できる.
- (3) コンパイラも自分自身をコンパイルして JVM バイトコードに変換すれば, (1) のインタプリタで実行できる.



Nagisa ISHIURA